

### 旧制秋中204会の猛者集う



毎年、九月一日、母校の創立記念日に合わせ、昭和二十一年に四年での卒業（この年から国あげての総動員態勢のもと、旧制中学校は四年で卒業ということになったが、終戦で、この年だけであって、実際の卒業はこの年だけ旧制高校、同専門学校進学者は七月であった。）

代表幹事山谷浩二氏、庶務会計幹事野平準二氏に会の運営を一任し、昭和二十年後半から、六十有余年休むことなく、今日に至っている。

この度の出席者数は十八名で、正にサバイバルを賭けての猛者揃い、実年齢八十三歳

つどい



後列左より（ひとりおいて）沢田石有一、佐藤鉄男、保坂弘、佐藤良七  
前列左より 菅野章、渡辺純夫、佐藤暹、高橋昌一、鏡屋茂富、高橋徳雄、小野悟

**参加者11名  
元気継続!!**

昭和21・22年卒同期会は、平成二十二年三月十七日、秋田市第一会館に於いて参加者十一名。首都圏は県外を含めて十八名が参加し戦中戦後世代も傘寿をクリアし、元気継続!!

より十〜二十歳若くみえ皆潑刺としているが、大方大器晩成タイプで、多能多芸で、陽気さも皆充滿している。次回からはその多才ぶりをお互いに披露し合うことになっていて、楽しみである。

（石井（直） 記）

### 秋高応援団OB 紫紺の会発足



秋田高校応援団（時代により応援委員会）の在籍者による、OBの親睦会がこのほど発足した。運動部や文化部などにはOBの会があつて、活

「秋田高校・紫紺の会」とすることにした。

今後、卒業年次の世話役を中心に、OBに声をかけ、会員を広げていくことと、母校の事業や後輩たちの支援・応援も積極的にやつていこうと申し合わせた。

（43年卒 杉田 記）



（S41卒）のあいさつその後、規約制定・役員選任・事業計画および予算計画が審議され、滞りな

**弓道部OBは  
驚弓会設立**

弓道部設立から五十余年を経て、弓道部OB会設立総会が、平成二十二年六月十九日パーティーギャラリイヤタカにて開催された。全国各地から三十六名が参加し、発起人を代表して湊修嗣教士六段

「秋田高校・紫紺の会」とすることにした。

今後、卒業年次の世話役を中心に、OBに声をかけ、会員を広げていくことと、母校の事業や後輩たちの支援・応援も積極的にやつていこうと申し合わせた。

（43年卒 杉田 記）

### 「つどい」の編集について（お知らせとお願い）

- 一、「つどい」の記事は写真を中心に、説明文はなるべく短くして下さい。
- 二、説明文や出席者名簿などの取り扱い、編集委員会（広報委員）にお任せ下さい。
- 三、締切に間に合った原稿はできるだけ全部掲載するように努めますが、「つどい」の寄稿は毎回数が多く、編集の都合上次回に回すこともありま
- 四、発行日の変更に伴い、春季号の締切は三月下旬、秋季号は八月末が締め切りです。

く承認された。総会に引き続き行われた懇親会では、参加者一人一人にマイクが渡り、現役員だった当時の思い出をそれぞれに披露した。参加者による投票の結果、OB会の名称は驚弓（おうきゅう）と決定し、今後は現役生との合同練習や射会などを通じて、現役生の活動を支援していく。